



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2022年5月31日

3回目のコロナワクチン職域接種 2020人が接種

5月7日(土)から、当組合の新型コロナワクチン職域追加接種がスタートした。昨年、当組合では8月から10月にかけて1回目、2回目のコロナワクチン職域接種を実施。3回目の職域接種となった今回は6日間開催され、組合員や近隣企業従業員、その家族を合わせて2020人がワクチン接種した。

3回目の職域接種は、初回接種と同様、新型コロナワクチン接種に関する地域の負担を軽減し、接種の加速化を図っていくため企業や大学等においてワクチン接種の実施を可能とするもの。接種は2回



ワクチン職域接種

目接種完了から6ヵ月以上経過した者を対象に1回接種することとしている。

問屋町会館2階で実施されたワクチン接種は一方通行の動線を確保し、換気を行うなど三密を回避。マスク着用や手指消毒など感染防止対策を徹底して行われた。今回も、前回に引き続き村上新町病院の協力のもと医師や看護師を手配。会場スタッフも事務局職員に加え青森県立保健大学の学生アルバイトらが担当し、スムーズに接種が進められた。

利用者からは「待ち時間も短く、短時間で接種を終えることができた」「わざわざ病院に行く手間が省けた」などの感想が寄せられ、今回も非常に好評であった。



ブースに分かれてワクチン接種

当職域接種では2千人を超えるワクチン接種が行われ、安心、安全な職場環境整備や経済活動の早期回復に一役買った。



2階大会議室で接種待ち

組合では新型コロナウィルスに関連する補助事業や各種情報についてもタイムリーに提供し、引き続き組合員を支援していく。



受付も一方通行でスムーズに

ダイエツトグランプリ結果発表 同友会

青森問屋町経営同友会の第33回会員交流会が4月22日(金)に開催され、会員ほか25名が参加した。交流会の初めには2021年5月から実施しているダイエツトグランプリ2021のファイナル測定会を行った。ダイエツトグランプリには同会会員12名がエントリー。参加者は、①現状維持コース②3kgコース③6kgコース④10kgコースのいずれかのコースを初めに選択。それぞれ選択した減量コース達成に向け1年間ダイエツトに励んできた。測定の結果、組合事務局の赤坂事務局長が見事3kgの減量に成功。達成できなかった。

た参加者には罰ゲームが課せられた。懇親会では「行ってみたい場所」をテーマに1人ずつ1分間スピーチを行うなど、会員同士の親睦を深めた。



同友会 会員交流会

第55回通常総会の提出 案件など承認 第1回理事会

2022年度第1回理事会が4月26日(火)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは2021年度塵芥収集等の回収実績及び交通事故実態調査結果などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり。

案件一、第55回通常総会の開催方法及び提出案件について市内ホテルにて、コロナ感染防止対策を講じての総会開催。

問屋町の健康事業実態調査 まとめる

組合では問屋町の健康づくり事業への取り組み状況を客観的に評価・分析するために、青森県立保健大学と連携して組合員に対する健康事業実態調査を行った。

2021年10月から12月にかけて、調査は2段階に分けて行われた。はじめにベースライン調査として全組合員133社を対象に書面でのアンケート調査を実施。続いてベースライン調査をもとに一部組合員企業に対し「経営者」「担当者」「従業員」の3者に聞き取り調査を行った。

催及び3年振りとなる総会後の懇親会開催が承認された。理事会終了後には、青森卸センター(株)の第1回取締役会及び青森問屋町配送(株)の第1回取締役会も開かれ、審議の結果、提出案件全てが原案どおり承認された。

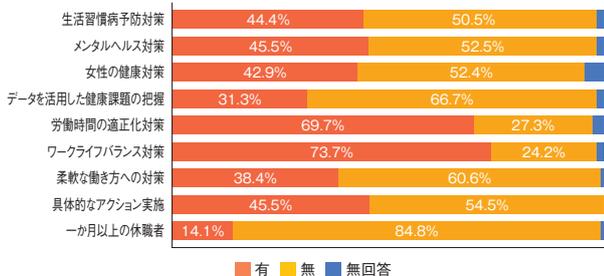
2021年度のリサイクル率が 最高記録を大きく更新

2021年度のごみリサイクル回収率(総排出量に占める各種リサイクル回収量合計の割合)が68.7%を記録し、これまで最高記録であった2017年度の67.4%を大きく更新へつなげた。

アンケート調査では99社から回答が寄せられ、調査の結果、健康づくり事業に取り組みむことの重要度については、とても高いが50社(50.5%)、まあまあ高いが48社(48.5%)であった。健康づくりに関する取り組み状況のアンケートでは、「ワークライフバランス対策」が73社(73.7%)、「労働時間の適正化対策」が69社(69.7%)と多くの企業で実施。従業員の労働時間への対策が重要視されていることがわかった。

一方、「生活習慣病対策」や「メンタルヘルス対策」、「女性の健康対策」への取り組みは40%程度で、半数に満たな

健康づくり事業の実施状況



く上回った。組合では2022年に紙類リサイクル回収を開始し、その後、空き缶・ペットボトル、木製パレット、パソコンなど回収メニューを拡充させ、ごみの減量化並びに資源リサイクルを推進してきた。回収業者とも連携し、分別徹底の周知・指導を続けてきたことの効果が表れ、このたびの記録更新へつなげた。

今年度の合同清掃がスタート

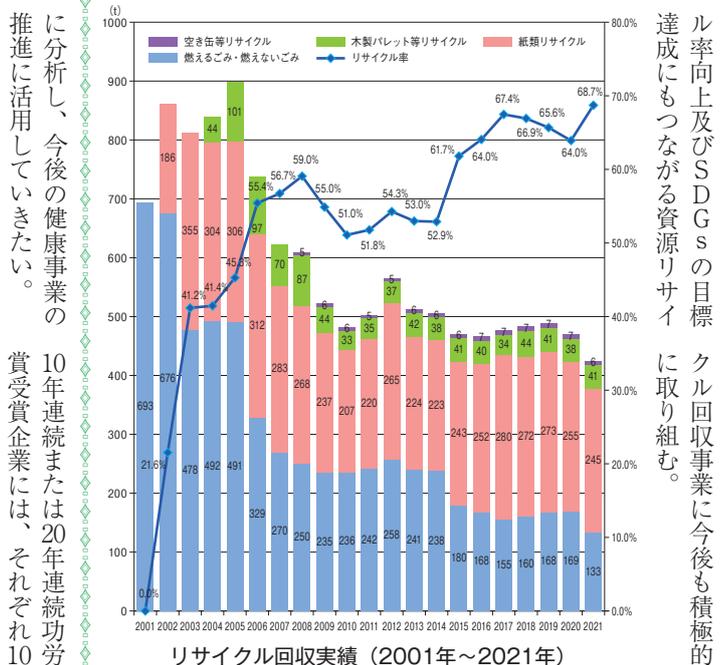
問屋町合同清掃の2022年度1回目の活動が、4月14日(木)に行われ、組合員及び近隣企業から236名が参加した。参加者は雪解け後に現れた空き缶やペットボトル、雪で折れた街路樹の枝など、大量のごみを拾い集めた。

問屋町合同清掃は2002年からスタートし、今年で21年目を迎える。4月から10月までの毎月第2木曜日の全7回開催し、参加者は毎回200名を超える。年5回以上参加の企業には功労賞を贈り、



合同清掃

10年連続または20年連続功労受賞企業には、それぞれ10年賞、20年賞も設けている。捨てられていくごみの総量は年々減少傾向にあり、合同清掃を通じて問屋町の景観美化意識高揚が図られている。



短期間のイベントや警備には
レンタル無線機が最適です

お問合せ
下さい

電子部品
無線各種
PC関連
防犯カメラ
放送設備

(株)電技パーツ

青森市第二問屋町 3-6-4 4
TEL: 017-739-5656
Email: shop@dengiparts.co.jp

総合食品卸

丸大堀内株式会社

〒030-0131 青森市問屋町2丁目15番22号
電話 017-738-4311

2022年度 問屋町会館開催 健康診断日程

Table with 3 columns: 開催日時 (開催日, 時間), 実施団体. Rows include 第1回 集団健康診断 (6月7-9日), 問屋町地区健康診断 (7月4日, 8月3日, 9月12日), 第2回 集団健康診断 (10月11-14日).

※協会けんぽの生活習慣病予防健診を受診できるのは下記の日程のみとなります
6月7日(火)、7月4日(月)、8月3日(水)、10月11日(火)



昨年度の健康診断の様子

- 受診内容
①法定一般定期健康診断
②生活習慣病予防健診
③(胃がん・大腸がん検査)
④採血による腫瘍マーカー検査

- 主要事項
26日 問屋町経営同友会第1回役員会
22日 問屋町経営同友会第1回理事会
19日 問屋町経営同友会第1回監事会
15日 問屋町経営同友会第1回三役会
14日 金融審査会
6日 問屋町経営同友会第1回役員会

業務報告

第62弾となる今回の経済雑感では、問屋町の健康事業実態調査を実施した青森県立保健大学の千葉准教授にご寄稿いただいた。

経済雑感

第一五回

青森県立保健大学 看護学科 准教授 千葉 敦子

昨年度は「健康づくり事業の取り組みに関するアンケート調査」にご協力いただきありがとうございます。本稿では、内容の一部をご報告させていただきます。健康と経済について2回シリーズで考えてみたいと思います。

「卸センター組合の従業員は「いきいき」しているか?」調査結果の表1をご覧ください。これは、卸センター組合員と全国労働者の精神的健康度を比較した表です。得点が高いほど望ましい状態を示します。組合員の方がすべて



青森県立保健大学 准教授 千葉 敦子 氏

「職場の一体感(ソーシャル・キャピタル)」がもたらされ、生産性の向上や従業員の幸福につながる。卸センター組合員は職場環境が良好で、「いきいき」と幸せに働いていく可能性を示唆されます。【小規模事業場、県内企業がより「いきいき」度が高い!】次に、従業員数別、所在地別に

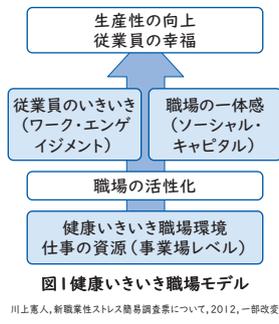


表1 卸センター組合員と全国調査との精神的健康度比較(抜粋)

Table comparing '卸センター' and '全国労働者' across metrics like '仕事の資源(事業場レベル)', '従業員のいきいき(ワーク・エンゲイジメント)', and '職場の一体感(ソーシャル・キャピタル)'. Includes columns for '平均' and 'SD'.

*事業場レベル資源(経営層との信頼関係、変化への対応、個人の尊重、公正な人事評価、多様な労働者への対応、キャリア形成、ワーク・セルフ・バランス(ポジティブ))
*SD=標準偏差
*新職業性ストレス簡易調査票(川上憲人)、得点が高いほど良好な状態

Advertisement for 'らーめんはちもり' (Ramen Hachimori) featuring a bowl of ramen and contact information for the branch in Aomori City.

Advertisement for '総断熱資材・空調部材 (株)オー・ケー・アイ' (Total Thermal Insulation Materials & Air Conditioning Materials O.K.I.) with contact details for the Aomori branch.

Advertisement for '平尾測量登記事務所' (Hirano Surveying and Registration Office) listing services like land surveying and boundary determination, along with contact information for Kenji Hirano.

Advertisement for '共和トラベル株式会社' (Kyowa Travel Co., Ltd.) offering travel services like employee trips and personal travel, with contact information for the Aomori branch.

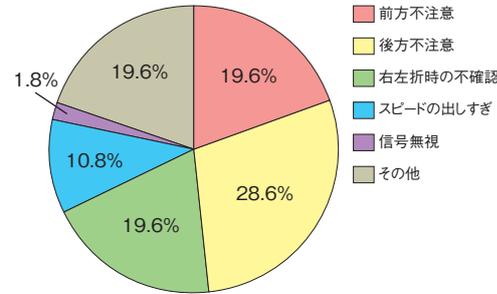
2021年度交通事故実態調査

青森交通安全協会問屋町支部が会員を対象に2021年度交通事故実態調査を実施、その調査結果がまとまった。

全142社から回答を得た調査の結果、無事故(加害事故件数0件)会員事務所は117社、82.4%となり、前年度を0.7%上回る結果となった。加害事故件数は56件と前年度から10件減少し、被害事故は39件と、前年度比14件増となった。

加害事故発生要因についての調査では、最多が「後方不注意」の16件、28.6%、「前方不注意」の16件、28.6%、「右左折時の不確認」の二つを含めると約7割が不注意による事故であった。

事故要因(2021年度)



た。また、その他の事故要因としては、ハンドルの誤操作やアクセルとブレーキの踏み間違えなど、操作ミスによる事故も数多く発生した。

事故発生時期については、全体の約6割が冬期間(12月〜3月)を占め、2021年度の記録的大雪で道路の寄せ雪による交差点の視界不良が事故要因となったケースもあった。



問屋町の交通事故発生箇所



冬期間に交差点で接触事故

箇所については13件中10件が交差点で発生。こちらも冬期間に多く発生した。2022年6月18日の「問屋町内交通死亡事故ゼロ9千日達成」まで残り1ヵ月を切り、より一層気を引き締め、安全運転を呼びかける。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、今年4月に赴任された、(株)みちのく銀行問屋町支店の三浦支店長にお話を伺った。

「当行は地域の皆様に支えられ、昨年10月に創立100周年を迎えることができました。地域金融機関として引き続き事業者の皆様への資金繰りや本業支援、個人の皆様への家計支援に徹底して取り組むことで、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、地域経済の回復に繋げていきます。」

また今年4月1日は青森銀行と経営統合し、プロクレアホールディングスが誕生しました。地域の可能性に挑戦し、お客様と共に成長、発展して

いくためには、職員一人ひとりの経験値を上げる必要があります。最近では実務に近い研修をオンラインで行い、遠方にいる職員も内容を共有しスキルアップを図っています。専門知識を深めお客様の信頼に応えられるよう努力していきます。」



(株)みちのく銀行 問屋町支店 青森南エリア統括 支店長 三浦 寧洋 氏

新任地での取り組みについて伺うと「今年6月8日で問屋町支店が30周年を迎えます。支店内の飾りつけや職員を写真で紹介するなど企画しています。6月7日、8日、9日の3日間は来店者へのくじ引きも行いますので、是非たくさ

んの方にお越しいただきたいです」と力強い。問屋町の印象について聞くと「支店に最初に来た時は、団地内に住んでいる人が少ない感じが潤いがない街なのかなという第一印象でした。そうして中、4月から合同清掃が始まり組合員が団地内を綺麗にしたり、車両マーキングシールを組合員の社用車に付けるなどの取り組みを見て、一体感があって素晴らしいと思いました。また青森市を牽引する多くの企業が問屋町に集まっていることをこちらに来てから知り驚きました。」

と語る。プライベートに話が及ぶと「毎朝ウォーキングをしています。朝4時頃から4キロ前後歩きます。健康のために歩き始めたのですが、今は八甲田山の景色などを見たりして楽しみながら歩いています。7月から始まる問屋町100日ウォーキングもぜひ参加したいです」と笑う。

よく使う言葉は「やっぱり人という言葉です。相手と良い関係性を持つことで情報も開示してくれますし、相談してもらえようになります。私たちが求めているのは人間力だと思っていますので信頼される人間になるよう、これからは努めてまいります。」と締めくくった。(57歳) (藤本)

編集後記

3回目のコロナワクチン接種も2020人の方に無事終えることができました。ご担当いただいた医師の先生方はじめスタッフ・職員の皆様、苦勞様でした。青森県立保健大学・千葉産業実態調査は、健康づくりを重要視する組合員企業が「まあまあ高い」が99%という驚くべき結果を示しました。千葉先生も「私の予想とは逆の結果」と本コラム以下の傾向を指摘されました。その①全国の労働者に比べ「卸センター組合員の従業員は「いきいき」している!」ことと②小規模事業場、県内企業がより「いきいき」度が高い!」ということです。この調査結果に、組合の健康事業がいくらかでも寄与しているとすれば望外の喜びです。さて、編集後記についてです。私事ですが、今5月総会で私、専務理事を退任することになりました。それに伴い、本ニュースの編集長と編集後記の担当も今号をもって終えることとなりました。これまで誠にありがとうございました。2008年2月号からです。足かけ14年と3ヶ月になります。振り返りますと対外的には、08年9月のリーマンショック。11年3月11日の東日本大震災。20年からのコロナパンデミックと、大きな事件があり、そして今年2月24日のロシアのウクライナ侵攻です。一方、対内的には、通底してあったデフレ下での組合員跡地問題がありました。しかしそれも17年の組合創立50周年を機に好転し、現在では逆に加入希望にお応えできないまでに充足しました。これも組合員の皆様のお陰と感謝しています。6月号からは、新編集長のもと新たな卸センターニュースとなりますが、引き続き応援をお願いします。(藤本)

(一財) 青森市産業振興財団

限りなく夢が広がるイベントホール



見本市と展示会の 青森産業会館 青森県調理師会

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4-1 (産業会館) TEL 017(739)1811 (県調理師会) TEL 017(739)7337 FAX 017(739)1800 FAX 017(739)1800

会議・研修スポーツ・レクリエーション施設



青森市はまなす会館 青森市勤労者互助会

〒030-0131 青森市問屋町一丁目10-10 (はまなす会館) TEL 017(738)4821 (勤労者互助会) TEL 017(764)5061 FAX 017(728)2162 FAX 017(764)5062

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目4番1号 TEL (017)739-1811 FAX (017)739-1800 http://sangyokaikan.com/